

## 実施報告書

行事名：森林総合研究所四国支所公開講演会

林業へのシカ被害対策を考える

開催日：平成 28 年 11 月 29 日（火）

開催場所：高知会館（高知県高知市）

参加者数：64 名

概要：

森林総合研究所四国支所では、徳島県、高知県、および高知大学と共同で、研究プロジェクト「ニホンジカ生息地におけるスギ・ヒノキ再造林手法の開発」を平成 26 年から始めました。シカ対策には個体数調整（捕獲）と物理的防除（防護柵など）があります。本プロジェクトではこれらを車の両輪と考え、捕獲については再造林地に出没するシカを集中的に捕獲し、苗木への被害軽減効果を検証しました。

また、防護柵については実際に設置されている防護柵を多数調査して、柵を有効に機能させる条件を検討しました。それぞれの研究課題について一定の成果があがっていますが、課題も多く残されています。

この公開講演会において、本プロジェクトの成果をご報告すると共に、林業事業者や森林管理者と林業におけるシカ問題を解決する糸口を探っていくために開催しました。

なお、当日は高知新聞による取材、香南ケーブルテレビによるカメラ取材もありました。

以下は講演タイトルと発表者です。

当日の発表要旨集はこちらからダウンロードできます。

[http://www.ffpri-skk.affrc.go.jp/event/event\\_index.html](http://www.ffpri-skk.affrc.go.jp/event/event_index.html)

### 「ニホンジカの爆発的増加と管理」

梶 光一（東京農工大学農学部地域生態システム学科 教授）

### 「再造林地におけるシカの誘引捕獲」

藤井 栄（徳島県立農林水産総合技術支援センター資源環境研究課新次元林業担当  
主任）

### 「シカ捕獲による苗木被害抑制効果の検討」

大谷 達也（森林総合研究所四国支所森林生態系変動研究グループ 主任研究員）

### 「シカ柵はシカ被害を食い止められるか」

酒井 敦（森林総合研究所四国支所 チーム長（人工林保育管理担当））

講演終了後は、講演者の他、伊藤 哲氏（宮崎大学教授）、木村 穰氏（四国森林管理局業務監理官）、徳増秀敏氏（高知県香美森林組業務課森林整備係長）をパネラーに加え、田中 浩氏（森林総合研究所研究担当理事）がコーディネータとして進行し、個体数調整（捕獲）、物理的防除（防護柵など）のシカ対策について、再造林地におけるの苗木被害効果検証について活発な議論が行われました。

当日は来場者それぞれの立場からの貴重なご意見等を伺うことができ、シカ被害対策への関心の高さが改めて浮き彫りになりました。

## 写真



